

お知らせ

2018年4月2日
井関農機株式会社

2018年度 ISEKI グループ入社式 社長メッセージ

当社グループは、本日、当社グループの新入社員を迎え入社式を行いました。井関農機株式会社 取締役社長執行役員の木下榮一郎より新入社員に対するメッセージがありましたので、下記の通りお知らせいたします。

<社長メッセージ>

本日、社会人としての第一歩を踏み出されたことを心よりお祝い申し上げます。井関グループを代表して、心から歓迎の意を表したいと思えます。

当社グループの歴史は、井関農機の創業者、井関邦三郎翁の「農家を苛酷な労働から解放したい」という強い思いを原点とし、その実現に向けて「農業機械の開発と製造・販売」に、一貫して情熱を傾けてきた歴史があり、多くの画期的な製品を他に先駆けて世に送り出してきました。当社グループの強みは、こうした歴史で築き上げられ、分野別登録数や特許査定率日本一の実績として裏付けられている商品力と、販売第一線のサービス力・サポート力で築いてきた顧客基盤にあります。皆さんには、こうした当社グループの歴史と社会的役割を胸に刻み、常に「お客さま」を最優先にする視点を持って頂きたいと思えます。

現在、当社グループが経営基盤を置く「農業」の世界は、今まさに転換期にあり、国内・海外ともに大きく、かつ急速に変化しています。

国内農業では、農業従事者の高齢化が進む中、構造変化が一段と加速しており、農地集約による農業経営の大規模化、農業の生産性向上に向けた先端技術の導入、稲作から畑作・野菜作への作付転換が急速に進んでいます。これらの課題に対して、井関グループは、「夢ある農業応援団」として、ICTや先端技術を活用したスマート農機や先端営農技術の提案により農業の生産性を向上させる、また農業女子プロジェクト等で女性の農業参加を応援するなど、農業経営をあらゆる方法で応援しています。

海外に目を向けると、世界人口が増加する中、食糧生産を担う農業の重要性はますます高まっています。特にアセアン地域の農業の近代化が著しく、井関グループの果たすべき役割も一段と大きくなっています。当社グループの売上に占める海外の比率は年々高まっており、今後も海外事業を拡大させていきます。我々の活躍の舞台は、世界中に広がってきています。

このように、農業を取り巻く環境が内外ともに大きく変化している中で、我々井関グループには、国内・海外の農業の発展に向けて更に貢献することが求められています。皆さんには、新しい時代を先導する旗手として、前例や固定観念に捉われない新しい感覚で物事に取り組むことを大いに期待しています。

そして当社は2025年には創立100周年を迎えます。迎える100周年には、国内はもちろん、グローバルマーケットにおいても確固たる地位を築くことを目標としています。ぜひ皆さんとともにそれを実現し、井関グループの新たな歴史を築いていきたいと思ひます。

次に、企業人・社会人として心掛けて頂きたいことを申し上げます。

皆さんは今日から社会人です。皆さん一人ひとりが会社の一員であり、会社を代表していることを常に自覚し、仕事でもプライベートでも、良識ある社会人・企業人としてふさわしい行動をとるよう心掛けてください。

そして、企業社会は、厳しい競争の連続です。しかしながら何も悲観的になることはありません。大切なことは常に前向きに取り組み、チャレンジすることです。チャレンジは若い皆さんの特権です。当社グループを「変革」するのは皆さん一人ひとりのチャレンジ精神にかかっています。自ら積極的にチャレンジするよう、心掛けてください。

また、一人ひとりがいかに力を持ち、発揮するか、すなわち「人材力」が、企業の競争力の源泉となります。井関グループは営業・開発・製造それぞれのトレーニングセンターを整備し、人材育成に力を入れています。与えられた業務にプライドを持って取り組み、その道のプロとして、社内外を問わず認められる存在となるよう、専門性を磨いて頂きたい。社会人としての高い人格と教養、幅広い知識などを身に付け、自分の仕事をよりレベルの高いものにするため、常にスキルアップに努めてほしいと思ひます。

これからの長い企業生活、心身ともに健康であることが全ての基本になります。新入社員の皆さんが、これから当社グループで大いに活躍されることを心より期待いたします

以 上

ISEKIグループは、夢ある農業応援団！ISEKIとして、お客さまのニーズに即した製品やサービスの提供により、食を支える農業の発展に貢献してまいります。

